

高齢社会を生きるシリーズ

# 痴呆は予防できる



## 監修

国立長寿医療センター研究所  
所長 田平 武

アルツハイマー型痴呆で、遺伝子組換えの技術を用いて副作用の少ない経口ワクチンを開発した国立長寿医療センター研究所の所長。

上映時間 22分 [C#3299]

ビデオ版 69,300円 (本体66,000円)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17  
<http://www.toei.co.jp/edu/>

## 企画意図

年をとると痴呆は仕方ないと思うのは大間違いです。現在は、早期発見と早期治療によって進行を遅らせたり、改善させることが可能になっています。また、アルツハイマー型痴呆を治療する経口ワクチンが開発され、治療への道が拓かれつつあります。痴呆にならないために早めの予防と対策を紹介します。

## 内容

奥さんが初期のアルツハイマー型痴呆となったある家族では、すぐに専門医を訪ねました。今では日常生活に支障のない程度まで改善しました。「早く病院に行ったのがよかった」とご主人。

痴呆をもたらす疾患には、アルツハイマー型痴呆と、脳血管性痴呆があり、このふたつで約80%を占めます。

アルツハイマー型痴呆は70歳前後で始まり女性に多く、ゆっくり進行します。脳血管性痴呆は50歳代から始まり男性に多く、段階的に悪化します。アルツハイマー型痴呆は知的機能が全面的に低下しますが、身体の症状は少ない。脳血管性痴呆は、知的機能がまともな部分と異常な部分がまだら状に低下し、麻痺などの身体症状も多く現れます。

さらに、アルツハイマー型痴呆では人格が明らかに変わり、病気であるという意識もなくなるのに対し、脳血管性痴呆では人格も病気に対する意識も比較的末期まで保たれていきます。

痴呆と物忘れの違いは、例えば食べた物を忘れるのは物忘れ、食べた体験すべて忘れるのが痴呆です。痴呆では時間や場所が分からなくなったり、物をとられたなどの妄想や幻覚などが生じることが多いです。

早期発見するためにチェックシートを利用することもできます。最近では「物忘れ外来」「痴呆の専門外来」などもあり、早期の治療が大切です。また、電話で相談を受け付ける「ほけ110番」などのサービスもあります。本人が受診を拒む場合は通院先の先生に相談するか、又は在宅介護支援センターなどに相談して早い受診につなげることが大切だ」と相談員の長島さん。

50歳を過ぎたら要注意。試しに、漢字色別テ

ストで脳の前頭前野の働きについて調べてみましょう。(実際に画面に合わせてテストして下さい)

高齢者医療の最先端を担う愛知県の国立長寿医療センターでは、アルツハイマー型痴呆の研究が進んでいます。極めて早期に発見できる診断法(脳SPECTでの画像解析)を使っています。また、治療するための経口ワクチンを開発中です。そのワクチンはマウス実験において成功しており、治療への道が拓かれつつあります。

「痴呆は生活習慣と密接に結びついています。従って、生活習慣を改善することが、痴呆を予防する大切な要因です」と国立長寿医療センターの田平研究所長。同センターで行われている音楽療法では痴呆が改善する効果が現れています。

バランスのとれた、健康的な食事を心がけることが大切です。たばこ、お酒の飲みすぎなども、痴呆の危険因子となります。そして歯を大切にすることです。

このように、痴呆予防には、心と体を活性化させ日常生活から危険因子を取り除くことです。そして、近い将来アルツハイマー型痴呆のワクチンが実用化されようとしている今、早期発見がさらに重要となるのです。

おかしいと思った時には、家族などが早期に診察や治療へとつなげていくことが大切なのです。

協力・・・国立長寿医療センター  
財団法人 ほけ予防協会  
東海大学電子情報学部  
浜松早期痴呆研究所・金子クリニック

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2004年作品

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631  
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026  
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930  
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766  
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101